「天真爛漫　日中千思万想」

－「新日中友好 36 計」－

－私が感じた中国人に対する何故？何故？－

序段 ;「私が体験した約 10 年間の中国（中国人）との交流の整理」をしたいと思います。

これは、私が中国人と接した足かけ 11 年間(66 回中国訪問)で感じたことで、将来、真の意味で日本と中国が友好的に交流することを願っている一日本人の老人の体験と観察です。多分に自身の人生観や心情が入っているものと存じますが、私の人生の直近約１０年間の中国及び中国人との関りあいの中での老人の戯言（ざれごと）としてご理解願います。然るに、決して、中国人を非難しているわけではないことを申し添えます。

むしろ、単一民族・単一言語の日本人には解からない、複雑な現代中国の実態と現代中国人が抱いている心を日本人に理解を求めたいのが、私の“西方見聞録”です。私は“日本人の愛国心”と“中国人の愛国心”の衝突の危機感を感じた為、緊急に書きました。

読者は特定しておりません。専門家ではない箇所の記述もあるので文体は「紀行文的随筆文　日記帳の純粋に感じたたこと」にしました。

それと私の文章は話が飛ぶことを予（あらかじめ）めお断り申し

上げます。例えば富士山を説明するのに、真上から見たらどういう形か、東から見たら？西から・見たら？…という、連立方程式（条件Ｘ；・・・、Ｙ；・・・　Ｚ；・・・→答え・・・）を解くような立体的に説明するので話が飛ぶことが多いのであります。

第一段　無邪気な老人のエピソード

私の接した中国人は高層部（400 人～500 人）、上層部（約人口の 5%）、中層部（約人口の 20%）、下層部（約人口の 65～６７%）、少数民族（約人口の８～10%）です。また各層の奥さんや子供達にも会って数多くの話をしました。

今思い出せば数千人以上の中国人に出会いました。故郷別では、中国における直轄市（北京・上海・天津・重慶）を含む 34 の省の内、30 省の中国人です。

「吃驚した出来事」として思い出されることの一つとして、私の家に関空から観光バスで 15 人中国の地方政府（成都市の副市長以下）の役人が日本の老人医療視察目的で来たことがありました。さすがに、この時は驚き、添乗員に“我的家不是北京动物园，我不是大熊猫”（私の家は北京動物園ではありません、私はパンダではありません）”と言って、駅前のロータリーにバスを誘導し、その後やっとのことで近くのレストランで会食をしたという大変慌しか

ったエピソードがあります。（私はホテルで会うものとばかり思っていたのです。）

芦屋市長（女）と記念撮影

このような事も経験し、私は、日本でも関東人と関西人の言語・文化・価値観の違いがあるように、省別（地域・風土）による言語の違い、微妙な文化・価値観の違いも少しずつ解るようになりました。また、少数民族（蒙古族（ラマ教）・満州族（シャーマンーン（巫師・祈祷師））・ウイグル族（イスラム教）・ミャオ族（祖霊や祖先を信仰）・朝鮮族（無信仰が多い。仏教・キリスト教）・西蔵族（ラマ教）・回族（イスラム教）・ロシア族（ギリシャ正教）・イ族（道教）・白族（仏教）等）から観（み）た漢民族への意識、漢民族から観た少数身族への意識を直接取材し、勉強しました。そして、一言で「実感」を書ききれないが、幸運にも、否、“善（よ）きにつけ悪（あ）しきにつけ”様々の体験をさせてもらったのです。

洛陽では唐三彩を作る窯戸（かまど）の工場のまわりに広がる畑の畦（あぜ）道を一人で自転車に乗って、農民の老夫婦と２、３０分話をしことがあります。

私の中国語は普通话（北京語（満州族の発音）を基礎として新たに

出来た中国語の共通語です。

彼らは、初め私を省外（県外）の中国人と思ったようで、私を日本人と知ると相当驚いたようです。また、私は老夫婦が私と同年齢くらいかなと思って声をかけたのですが、私より年齢が 10 歳若いのに腰が曲がっていたのに、こんどは私が驚いたのを思い出します。その時、私が「日本人的印怎象么样？　日本人の印象はどうですか」と聞くと」、男性は「不知道　解らない」、女性は「害怕　怖い」と言ったことも明確に覚えています。現地で 50 代女性に取材しますと、「害怕　怖い」と言われたのです。振り返って思い出しますと、小泉総理大臣の時代中国のホテル見るドラマには“日中戦争”のテレビ番組が多かった記憶があります。中国では小泉総理大臣は“富士山”と並ぶほど有名です。

ところで、日本では歴史の学習は古代史から習いはじめ、近代史は殆ど教えられていないのが実状ですが、中国人は歴史を学習するのに初めに中国近代史即ち 1840 年の阿片戦争以後から習います。つまり多くの中国人が古代日本と中国との交流の歴史や現在の日本の実態をよく知らないし、また彼らの時代は日本人に対し、いい印象がない教育（反日教育）を受けていたという事は、紛れもない事実なのです。

初めは、彼らは非常に警戒していましたが、最後には、お互い打ち解けることが出来ました。それは私が中国語で「不用担心把，我的好朋友是关林的王管长还有李主任的　心配しないで、私の友人は関林（関羽の首塚のあるお寺、関羽は道教では商売繁盛の神であり、中国の仏教では菩薩扱いである。）の館長の王さんと主任（部長）の李さんです。」と言ってデジカメで写した写真を見せると徐々に彼らの心がほぐれてきたのです。更に私は洛陽には5回目で、白馬寺の館長、世界遺産の龍門石窟の主任達と親交があることの話をしたのです。

唐三彩の窯	唐三彩	白馬寺の館長と張さん

更に更に、中国古代史に洛陽には中国の首都が約900年の9つの王朝あった事を話し、特に三国志の曹操と武則天（則天武皇、唐代女性で初めて皇帝名なった人）の話をするとかなり心が開け、また「三国时代的时候魏国的国王曹操的墓地在那里？　三国時代の魏の国王曹操の墓は何処ですか？」と聞くと彼らは「不知道　知らない」と言ったので、私が「听说，他的墓地在安阳　聞くところによると曹操の墓は（昔商の都のあった）安陽（北京から電車で南下し河北省から河南省に入ったら最初の市）らしいよ。」と言うと彼らは「是吗？そう

ですか？」と言ったので、すかさず「你们洛阳人吗？　貴方たちは、洛陽人か？」と聞くと遂に笑いだしました。打ち解けて娘さんが広東省に出稼ぎに行っていることも話してくれました。

曹操は安徽省出身であり黄巾（こうきん）の乱（後漢末期の農民の反乱を抑えた後河南省の許昌（きょしょう）に居をかまえた。）で有名である。安徽省出身で有名な人は古代では老子、曹操、現在では国家主席の胡錦濤がいます。

そんな長閑（ながばなし）なふれあいをしているところに洛陽の知人の張さんが登場しました。どうやら日本の無邪気な老人を探していたようです。

実は、中国人の知人・友人がいつも私の行動を心配してくれるのも事実のようなのです。

第二段　中国人の人達には御心配をおかけしました・・・食文化から性の文化まで

私はいつも考古学者・記者の如く行動するので、中国人の知人・友人に心配をかけることが多いのです。あるときも河南省の南部の地域から夜汽車で 14 時間電車に乗ったことがあります。私はトイレに行った後、座席を間違って北京の近く迄寝てしまいました。目が覚めると隣に女性が寝ていました。客室乗務員の部

屋で寝てしまったようです。彼女はズボンを穿いてなかったのも覚えています。私が「初次见面，我的朋友在那里哪？　初めまして、私の友達何処にいるの？」と切符を出して聞くと、彼女は慌（あわ）てて、ズボンを穿き無事私の座席に連れていってくれました。

大騒動です。中国の友達と、日本の知人は私が電車から落ちたのではないかと私を探し随分心配をかけたようなのです。思い出せば最初のトイレは使用中だったので、後ろの荷物室の側のトイレに行ったのが間違いでした。悪気はありません。そして福にも隣が客室乗務員の部屋であったという事件でした。北京西駅に着く約１時間前の河北省の省都石家庄付近の出来事でした。

（河北省は黄河の北に位置し、人口約 7000 万人弱、北京も天津も元は河北省に属し古代戦国時代では燕（えん）の国で河南省（約 1.1 億人）、山東省（約 1 億人）合計約 3 億人でアメリカの人口を上回ります。）

（寝台電車で寝る時は、頭は必ず窓際にすることです。頭をドア側にすると後で女性が入ってきますと、一瞬吃驚しますが、私の顔の上をいきなりパカっと拳法のように右足を上げて 2 階のベッドにはいります。

中国人女性は女侠（女の侠客　強きを挫き、弱きを助ける事を旨とした「任侠を建前とした渡世人」が多い）

さて、私は、日本語を話す中国人も数百人出会いました。中国

人と言っても、人間性もあれば、育ちもあれば、貧富の差もあれば、教育水準の違いもあります。漢民族と言っても、歴史的に混血人が多く（秦の始皇帝の父にも匈奴の血が入っていると言われ、清代の第四代の皇帝の祖母は蒙古族、父は女真族、母は漢民族である。）漢民族の赤ちゃんのお尻には蒙古班（赤ちゃんのお尻が青いこと）があることも解りました。蒙古は匈奴の一部族なのです。なお内蒙古の省都フフホトには恐竜がたくさんいます。

（予断ですが私は、匈奴と突蕨（とつけつ）の区別が 50 年前の高校時代から判らずにおりました。中国語が話せるようになって、中国の西の果である新疆・ウイグルのパミール高原の手前のカシュガルまで行って現地で取材してきました。突蕨はトルコ系の遊牧民族（tü r k テュルク　トルコ＝Türkiye）の音訳で漢民族からは同じ匈奴とされた時代がありました。また突蕨は同じトルコ系のウイグル族に滅ぼされました。突蕨・ウイグル族には蒙古班がないようです。別の余談ですが右のマンモス象がオスかメスかが判らなくて台に登り確認しようとすると係員に止められました。）

漢民族とは食文化（料理の油が濃い、辛い等）の違い、服装・下着・ネクタイ・喪服（日本は黒、中国は白）・部屋・店舗等色の嗜好の違い、歩き方・走り方の違い、畳文化の有無、湯船につかる習慣がない（シャワーが多い、しかし日本の温泉は人気がある。中国の水は硬水、日本の水は軟水）等の文化の違い、通訳間違い、翻訳間違い、勘違

いがいかに多いかが判るようになりました。

私は中国に行くときは海苔と日本のポン酢を持って中国に行きます。中国の有名な北京ダックの店の店長と従業員に北京ダックを食べた時、日本の海苔（のり）と日本のポン酢で食べさして上げたら、彼らは特別好吃、非常非常好吃（本当に美味しいですね）と言いました。シルクロードの最終地は日本で、別の言い方をすれば、大陸文化の最終到着地は日本であり、日本入ってきた当初こそ蕾（状態）でありましたが、日本の先人達の努力で各文化が開花（発展）し日本文化が成立したと私は考えています。人間性も含めて日本人の方が、人に対する気配りに優れ、物づくりに関しても、繊細さがあるように思うのです。例えば、芸術品を見ても、中国は日本の骨董品（美術的価値や希少価値のある古美術品等）という概念がなく、古董品（漢代・唐代・・・の時代別で、まず時代性価値が重要で、一般的に美術的価値判断の基準が日本と異なっているように思う）という感覚である。だから日本のほうが、作品の精度が高いように思うのです。

日本語の平仮名（あいうえお）はモンゴル語（a=あ、e、i＝い、o＝お、j,wo,y＝う）から来たことを確認しています。またモンゴル語はウイゴル語から、ウイゴル語はアラビア語から来て、アラビア語はトルコ語から来ていることも確認できました。

中国の結婚式には二度ほど参加しましたが、人前結婚が圧倒的。新郎・新婦は正装するが、参加者は平服です。若いカップルは思い出を残す為、まるで映画の一場面の“スター”になったような雰囲気で撮影に臨みます。たまたま私は偶然に中国人若い美男・美女を見ました。

逆に法事は、前でお坊さんが椅子に座ってお経をあげ、親族は後ろの椅子で雑談したり、お酒を飲んだりします。中国には神社はなく、道教と仏教のお寺はあるが儒教のお寺は今のところ見たことがなく、お寺の数は日本と比べると格段に数が少ないのは意外ではないでしょうか。因みに線香は日本より太く、長さが遥かに長いです。

性の文化にしても中国は本を読む文化(各人の想像)であり、日本は江戸時代に確立された看（み）る文化（春画、楽しむ）の文化で

す。このように文化の違いは短期的解決方法がなく、仕方がない事だと言えます。従って「文化の違いを相互に理解しなければならない。」ということなのです。ついでながら中国の青空市で土産物を買う場合日本人は三割引きで満足するが中国人は七割引きでないと満足しない。

第三段　**中国人の価値観・・・新日中友好３６計**（詳細別）

文化の違いは、相互に理解せねばならないのですが、価値観の違いとなると、

A;日本人が許容できる価値観の違い、（むしろ、日本人が中国人の事情を理解せねばならない項目 14）

B；日本人が中国人と“共同・協働”で仕事をする上でとても困る価値観の違い、（中国人に日本人の価値観の理解を求めたい項目 10。）

C;日本人が許容できない価値観の違い、（少なくとも日本国内で行動する中国人に“価値観の改革”を求めたい項目４。）

Ｄ；私が中国と中国人に吃驚した項目８（中華思想と武士道精神）。

（“中国人が何故　そういう行動をするの？”と感じた点を、“A14 項目、BとC14 項目、Ｄ８項目”の合計 36 項目を、“兵法 36 計”に”になぞって“新日中友好 36 計”と名付けて。また項目を“・・計”としました。計の中には（章別）で日本の景気対

策とか中国との交流で新ビジネスモデル誕生の可能性も提起しおります。）

日本人でもありうることですが、仮に日本人 100 人と中国人 100 人を比べた場合、中国人の下記項目の割合が日本人に比べて 4 倍から 5 倍多いような気がします。

項目の中には、日本人と中国人の「文化・価値観の違い」の一言で済まない内容もあります。特に C は決定的な人間関係の断絶（信頼関係がなくなること）になることを中国人の人達も理解して戴（いただ）き日本人とうまく交流することを願ってやまないのです。

（日本人が許容できない価値観の違い、の第 27 計“中国人は何故経歴詐称をするのか？”と第 28 計“中国人は何故平気で裏切るのか？”は、私が体験したことでありますが、その後、私が中国に行って中国人の数人に経過と事実を話した上で確認したところ、中国人でも最差劲的人（最低な人間），坏人（悪人）という中国人が多いとのことです。）

第 25 計“中国人は何故謝らずに、言い訳をするのか？”と第 26 計“中国人は何故感謝と良心が少ないのか？”は確かに日本人と中国人との文化・価値観の違いであるので中国人に諭（さと）しますが、

第 27 計”経歴詐称“と第 28 計”裏切り“は日本では日本国民法に違反する行為であり”罪を犯した“ことになります、慰謝料等損害賠償が請求される危険性がありますので中国人に厳重注意いたします。

また、日本人も過度に中国人に拒否反応を持たずに良い中国人

を見つけることが肝要だと思います。５人に１人は良い人がいます。５人に１人“？人”は“価値観が違いすぎてどうしようもない人”がいます。

第四段　一期一会

“？”の人は日本人であれば、２０人に１人位と思う。

私の場合、5 人の１人の良い人とは定期的に連絡しますが、5 人の１人の”？”の人は電話が掛かって来ても着信拒否します。残りの３人は私から積極的に連絡しませんが連絡は受けます。

理由は、私にはある人生体験があるからです。自慢ではないが体験の一つを披露すると、高校時代、数学、理科、社会、国語、英語の五科目のテストで、一科目 100 点満点で 450 人中成績一番になる方法・500 点満点を取るにはどういう勉強方法があるかの試行錯誤を数十回繰り返しました。

480 点をとれば成績一番になれることが解りましたが、500 点満点は取れませんでした。各学期でのテストで時間の配分を、数学を中心に勉強をすれば、480 点はとれるが、国語を中心に勉強すれば 450 点に成績が下がるということが解ったからなのです。

困った時、ここ一番の勝負は自分の一番得意科目で勝負すればよいという事の人生体験です。

また、経営学の理論に企業の人材をABCランクで分けるとA；B；C＝２；６；２の比率があります。A;は会社にとって必要な人、B;は必要、不必要どちらとも言えない人、C；は不必要な人です。

私は65歳になったので、交際に人数を減らしていく（交際範囲の縮小）年代に入りました。感謝と良心のない人は、日本人であれ、中国人であれ付き合わない方針を密かに決定いたしました。自分の人間関係から“もう結構”という心境です。「説明するのが疲れた。」という・・・それで追放の決心“此地无险可守，罪不在马谡！”（泣いて馬謖（ばしょく）を斬る）。

電話が掛かってきても電話にでない。所謂中国語の“非如此不可(こうするよりほかにてはない)”である。しかし、私は、今日本は古代の封建主義ではないという理由で、一つだけ反省の機会を残すようにしてあります。私の知人に馬謖（ばしょく）から電話があった場合、知人に「私は着信拒否をするが、あなたは着信拒否をする必要がない」と言ってあるのです。

Bの人は、過去に色々いい思い出もあったので、追放まではいたしません。追放すると、その人の立場（経済生活、面子）がなくなるから追放しないのです。従って、態度がよくよく変われば別

ですが、私からは電話をしないが、電話が掛かってきた場合、見守る態度で、助言だけするようにします。所謂消極的交流です。私の心が狭いのではなく「よき思い出の金庫を残したい」が為、私が自ら心の金庫を閉じるという意味で過去と現在・未来を分離するということなのです。

以前、私は家内にも１年間一言も私から口を開かず、家内の作った食事を一切食べなかったことがありました。その時、家内の母が電車に乗って毎日私の食事を作ってくれた愛にはさすがに私も参りました。

私は元来「負ける喧嘩はしてはいけない」と小さい頃、祖母から教えられていましたがその時は家内の母の愛に負けたという事です。

言い換えると、当たり前のことですが、幸運にも私のところには、いつも新しい色々な人が毎日のように訪ねてくれるから、私としては、Aの人達にビジネスのチャンスをあげたいし、協力しようと思うのです。

A;は交流（積極的に協力します）、

B;は解放

再度繰り返します。あなたの自由にしてください、幸せになってください、しかし私からは連絡しません。私には次から次と日本人でも　中国人でも新しい人がたくさん訪ねて来ます。中には私が協力すれば将来社会貢献できる可能性を持った人もおり、そういう人に私の残された時間を使い協力したいのです。従って、私は年をとり時間と体力がないので、積極的に協力できないのです。（それで善き思い出の心の金庫を閉じる。連絡があれば、助言だけさせて戴く。）と

C;は追放と言う気持ちなのです。

私は元来、人に接する場合”一期一会”で接しています。中国語の道教での任侠道“一言为定　言った事は必ずします”は日本の

武士道精神で言えば“武士に二言はない”の意味です。私は、結果はどうであれ言い訳をしない主義です。間違った場合、間違ったと言って、またまた私はまた黙々と再挑戦するし、成功すれば、「よかったな」と言っておしまいです。私は人に対し「愛・施し」をしても人からそれを求めないし、当然のことですが、感謝の気持ちは受け取るが、私が利益・報酬をもらう気持はありません。つまり「人とは気持ちで接している」のです。

”一期一会”は日本の茶道の神様である千利休（堺市出身、私の自宅から近い）の言葉です。平たく言えば、「これからも何度でも会うことはあるかもしれないが、しかし（人間はいつ死ぬか判らないので、お互い交通事故等が何時発生するかも知れないので）（今後）二度とは会えないかもしれない」という覚悟で人に接する、ということです。私はいつも“一期一会”の気持ちでいつも人と接しているということをご理解下さい。

第五段　俯瞰的観点より徒然（つれずれ）に思う事

以前に”俯瞰的（ふかんてき）視点から判断をする。（文化・価値観が同じ地域で大局的（高所から、平たく言えば鷹・鳶（とんび）が天空を舞いながら、地上を観察している様（さま）であり）”、俯瞰的思考”から判断する。

（一歩・二歩引き下がって判断する。そうすると横の広がりが判る。）

それと”俯瞰的常識”から判断する。（制度・法律・文化・価値観の違う、国境をこえた場合の問題に大局的判断をする。国民の安全と現在と将来の国益を損なう場合には超法規的措置も必要。）の違いを書いたことがあります。”俯瞰的常識”をもてば中国とのビネスチャンスはいくらでもあります。

また女性は、俯瞰的視点はない。女性が決断すると失敗することが多いし女性は俯瞰的視点がないし先見性がないと思慮されるが俯瞰的思考（日本人の女性は 80%そうであるが、中国人の女性も同様である）は出来るとも書きました。その意味は、これも私の人生体験から思ったことで、一般に女性は失敗した場合の対処の仕方を考えずに判断（覆水盆に返らずの諺を忘れたり、また諺を知っている女性は決断できずに優柔不断です。）するからである。目先の利益と将来利益の価値判断ができず“孫悟空”ではなく“損悟空”になりがちだということであり、今が幸せであることを忘れ、過ぎ去ってから“見返り美人　後でしまったと気が付くこと”であることを忘れがちだという意味です。このことは、武士道精神のない女性的な優しさのある男性にもあります。根本的には男性の優しさと女性の優しさは違います。武士道精神を持っている日本人には「真の男性の優しさは死後家族の幸せを願って」現在を生きるが、女性は現在の幸せを願う刹那主義が多いという傾向があります。

ところで、話しを戻すと、

”？”の人は「追放」（絶交、付き合うのが人生の時間の無駄という意味である。）について・・・

“？”の人は、別の言い方をすれば、日本の法律家数人の話によると、「万引きをする人は、また万引きをする」と。嗜好と癖だけは治療の方法がなくアドバイスの仕様がないという意味です。しかし、「追放」でもその人に私には連絡できないが、連絡できる人は残しておいてあげている。所謂、中国の兵法 36 計の 16 計目、欲擒姑縦（よくきんこしょう）の計である。

昔、三国志の時代、呉の孫権は麦城の関羽を攻めるとき、城の北の険しい小道をわざと空けておいた。

そして麦城の兵士が減ると、わざとそこから関羽を逃がしました。しかしそれは、関羽を捕らえる為の罠だったのです。関羽は罠にかかり、捕らえられてしまいました。

どんな敵も、最初、助からないと考えたら「窮鼠（きゅうそ）猫（ねこ）を噛む」の行動になります。

しかし、一方に逃げ道を用意しておけば希望が生まれ、そこから逃げ出そうとします。逆に逃げる敵は討ち易いのです。

交渉事でも、相手を絶望させてはいけません。自暴自棄になら

ないように妥協案を示しておくことです。

しかしながらこの計は、物事を深く考えない人には余り効果がありません。

一般に人と交際するとき、見極めの仕方は「能力」ではなく、「育ち」を見ることをお勧めします。親と友達をみることです。特に中国人と交流する場合には、非常に優秀なプロの通訳者を介するか、自分で中国語をある程度自分でマスターする他はないように思います。特に聞く力をつけることです。一般に中国人には信仰心が少ないが、道教・仏教・先祖崇拝等の信仰の持っている中国人に良い人が多いように感じます。言い換えれば信仰を持っている人は人間としての「最低の誓いである良心」があるからではないでしょうか。私が知人の中国人に「中国人には信仰が少ない」との話をすると、「そんなことはない」と言われます。しかし私は「毛沢東は宗教を否定して“単位　毛沢東思想の相互扶助の完全平等主義”に基づく中国公民(現代中国人)の行動指針を示したのでしょう。信仰ではないですよ」と私が言うと中国人の知人は黙ってしまいます。

宗教と毛沢東の“道徳啓蒙思想”は違います。宗教は最低千年の歴史的検証が必要なのです。同じことは学問では最低 50 年の

歴史的検証が必要で理論は学者の歴史的検証がされていないという事です。但し理論の中でも、学者ではなく社会での実証実験の効果が絶大な功績か未来での成功の確率 99%にノーベル賞が授与されると私は理解しております。毛沢東語録は中国人の行動指針なのです。毛沢東の中華人民共和国約 60 年の歴史です。人間各人の心と**行動**は違います。行動は結果を求められるので哲学で言えば唯物論です。宗教心は唯物論ではなく観念論です。損得概念のない純粋な心なのです“自己の良心が宗教心”なのです。

第六段　**中国を知るパート１**

日本人の経営者は経営戦略の勉強に孫子の兵法を読みがちですが、私は兵法 36 計を勉強すべきだと思います。特に中国人と交流するには有効です。兵法 36 計は中国人にとっては、生き抜き方の知恵なのです。序（つい）でに言いますと日本の江戸時代の大衆文化に影響を与えた“金瓶梅（きんぺいばい）菜根譚（さいこんたん）”も一読すべきです。中国人の言い伝えに“隣の杏（あんず）の実を食べる”があります。江戸時代の井原西鶴の“好色一代男”の話に通じます。杏（あんず）は女性です。

（源氏物語は中国で翻訳され読まれており、村上春樹の著作も中国で翻訳され広く読まれているが、村上春樹は中国での著作権違反の裁判で勝ったのに未だ中国の出版社から著作権の支払いがないようだ。）

「中世の中国文化は台湾にあり、古代中国文化は日本にある。」と言えます。古代中国文化は現在中国には少ないように思うのです。しかし、中国の超古代“夏（尭（ぎょう）・舜（しゅん）・禹（う）の各帝王の禅譲（ぜんじょう）の時代）”の文化（4000 年、5000 年前）は中国の中原の河南省の経済開発で発掘されているのは黄河文明であり、揚子江文明には仮面文化と稲作文化がありました。成都市では開発地から 4000 年、5000 年前の“金沙国”の発見がありました。私は“金沙国”博物館に金の仮面が展示されているのを見ました。鋳造技術があったし、古代人のミイラは身長が 1m 50ｃｍ位で現代人と比べ身長が低いと思いました。

黄河	黄河治水の大禹	金沙国の金の仮面

また成都市で日本の能楽のような仮面劇を見ました。稲作文化は湖北省北部に見られ、家の屋根も瓦葺（かわらぶき）が見られたのであります。中国には二つの文明があったのです。余談ですが洛陽にも東周の時代の西安の兵馬俑（へいばよう）が市内の開発地から発掘されていますし、内蒙古では恐竜の化石を見ましたし、

更に数万年前のまるで炭化された木ではなく“石”があり、“石”は内蒙古人民政府から台付でいただきました。

現在の中国の地図を見る場合、形が“鶏（にわとり）”と思えばよく、

（外務省Ｈｐより）

頭は東北地方（黒竜江・吉林・遼寧）、首と喉は（３）（北京・天津・河北）、お尻は（新疆ウイグル・西藏（チベット）・青海）、臍（へそ）（１）が（上海）であり、背中は（内蒙古・甘粛・寧夏回族）、足が（雲南・貴州・広西チワン・広東（含香港・澳門・海南））で、内臓（9）は（四川・重慶・湖北・湖南・陝西・山西・河南・安徽・江西）と思えばよい。胸（２）は（山東・江蘇）で、下腹（２）が（浙江・福建）です。別に（台湾）と思えば合計 34 の省などがあります。首・喉・胸・臍・臍の下・内臓（合計１7）が元々の漢民族の居留地中国全土の（40%）でその他（60%）は 55 の少数民族の居留地と思えば中国の地理がおおまかに理解できます。

宗教は少数民族地区に独自の宗教はあるが、漢民族には道教・仏教の寺院が少しあります。漢民族は一人っ子政策（子供を作るのが一人）の法律が適用されるが、少数民族には若干（子供を二人、三人作る）の法律も存在します。

第七段　少しばかり中国・中国人・中国語を勉強した老人の見解

北京駅で“丐帮（（中国語）ガイバン　乞食”のお婆さんと孫らしきの二人に会った。私は何故か危険を感じたので孫に 100 元あげました。するとお婆さんは孫からお金を必死に奪おうとしたので、私は見るに見かねてタクシーに乗って場所を替えました。偽の乞食であった。“鬼の強欲”です。丐帮は“黒戸籍の人が多い。戸籍の無い中国人です。”

私の中国語の学習は 59 歳の 6 月からで、学習は殆ど独学で、5 年が経過しました。当初 30 分中国語を聞くと頭が「ぼう」となって、眠くて仕方がなかった。面白くもなかった。一年目はひたすらカラオケを聞き、二年目は中国語の連続劇をたくさん見ました。（中国の連続劇を見るという意味は日本人が NHK の大河ドラマの一年分を２、３日で見るようなもので、面白いが最低 30 時間の覚悟がいる。私は金曜日の夜初めてみると、日曜の夜 2 時・3 時、正確に言うと月曜日の朝まで見ました。非常に疲れる。）、三年目は幼稚園、小学１年生、２年

生、３年生の国語の本で学習し更に、中国語の童話の朗読を日本語が話せない中国にいる知人の中国人にｲﾝﾀｰﾈｯﾄ（コンピュター会話）を通じて読んでもらいました。更にスカパー（衛星放送）を通じて、中国と台湾のテレビを出来るだけ見るようにしました。私の部屋を中国のホテルと同じような環境にしたという事です。

しかし文法の勉強は一切しなかった。私が文法を間違うと中国人が訂正してくれたからです。今は日本語を話す中国人の知人がたくさできたので日本語で話すようにしています。

すると簡単な話は別として、中国人の日本語を話すレベルの高い人でも意味の深い日本語で話すと、所謂、中国語の一言九鼎(ｨｰｴﾝｼﾞｭｳﾃﾞﾝ　一言で重要な意味がある)の、通訳間違い、翻訳間違い、勘違いがいかに多いかが判るようになりました。

従って、仕事で日本人が中国人に日本語で話す場合、誰でも判る、平易な言葉（小学生の５年生でも解る）を使用する必要があると確信したのです。更に「箇条書き」で説明すべきであり、長い文章は不必要です。私は“希望する”、私は“必要とする”、私は“協力”する、私は“要らない”と言うような短い言葉で中国人と対話すべきで、年齢関係なく、その後はお互い友好的交流を通じてお互いの理解を深め、新たな人間関係を構築する努力と挑戦の気

持ちが必要なのです。(そうすれば、老後頭が呆けません。自分自身の心の持ち方なのです。)

という訳で、日本の政治家がよく使う“日本と中国とは戦略的互恵関係を保ちたい”程（ほど）意味不明な曖昧（あいまい）な日本語はないと言えます。私なら“日本と中国は元来（もともと）同じ民族なので、現在のお互いの価値観の違いを修正しながら、将来も友好的に接したい”という日本語の表現を使用いたします。

従って、別の言い方をすれば、今回（2010 年 9 月初旬発生)、日本政府の高官が尖閣諸島の中国の漁船の船長の問題に日本語で“日本は法治国家なので、日本の法律に則（のっと）って粛々（しゅくしゅく）と対処し、中国側に冷静な対処を望む”という発言は日本人には通じるが中国人には通じないと思うのです。

日本語の”粛々は日本人が理解する場合”厳正とか厳粛“の意味であるが、中国人が中国語で理解する場合”肃静（su jing)・肃然（su ran)・谨慎（jin shen)“となります。日本語で”静かなさま・慎むさま（謹慎）“になり中国側に“慎むさま“と解釈されると、日本が悪いという事になる訳です。

ついでに話しますと日本語の手紙は中国語ではトイレットペーパーの意味であり、中国語では”信“・”封信“です。

四文字熟語（成語故事）についても、日本人が使用するのは高校

受験用で中国古代の四文字熟語（成語故事）が多く、現代中国で使われる成語故事を日本人は知らない。例えば（後述第２３計で詳細を書きますが）、日本人は“以心伝心　言わなくても心が伝わる”　の成語故事は知っていますが、“以心比心（将心比心）　自分と相手との心比べ”の成語故事は、日本人は知らないと思います。微妙に違う。

難しい日本語を使うと外国人に誤解されることぐらい日本政府の外務省にも専門の中国語の通訳者がいるはずなのに・・・解かっていないのかと思うと少し情けなくなるのは私だけでしょうか。

その意味では外務省も中国から日本に帰化した中国人をもっと雇用すべきで彼らからアドバイスをもらうべきあると感じます。政治家は小学５年生にでも解る日本語を是非使ってもらいたい。専門家も専門家同士で話す場合には専門語を使えばよいが、それ以外は相手の能力に適合した言葉で話すべきです。

またまた話は飛びますが、日本の企業会計原則の一般原則２、に企業会計は“単一性の原則”を定めている。内容は正規の簿記に則（のっとって、従って）作成せねばならないとの規定がある。（企業の業績を示す財務諸表）を作成する場合、株主総会に提出する目的

（配当・株価の安定成長の期待度）、税務署に提出する目的（負担出来る税金）、銀行に提出目的（投資与信と回収の可能性）、企業の労働組合に提出する目的（労働の対価に対する労働者への分配可能性の期待度）、監督官庁に提出目的（企業が最低一年間は破産等しない）等、それぞれ企業を支える立場の人達の価値判断目的が違うので、目的に沿った異なる財務諸表を作成することが許されている。

しかし表現方法は異なっても、正規の簿記の原則すなわち、複式簿記を基本として、（取引発生の）日付、（取引ごとの分類）科目、適用（取引内容の簡単な記述）、（取引）金額、合計（借方科目の金額合計と貸方科目の金額合計）金額の合致があることである。取引実態と帳簿記録は表裏一体で、（企業）内部の相互牽制システムが必要なことは、先進資本主義国の当たり前の常識であります。しかし、中国はそうではない、公給領収書（政府発行の正式領収書）も安く買えて経費化できる。中国は交際費に量的規制も質的規制も現在存在しない。上場会社は資金調達の為の粉飾が多いし、中小企業は税金を払うのは馬鹿という風潮が見られる。従って増値税（日本の消費税）17％と言うような高額な流通税を課す。ちなみに法人税は24％で日本より税率が低いのです。

従って、私なら今回の尖閣諸島問題に“両国の制度と国民感情

を尊重しながら、政府間交渉で速やかに解決したい。”と言います。日本の現在の政府、役人に中国との交渉能力が如何にないか（現代中国の学習をしていないか）の露呈（ろてい）であると・・・外交（濁と）社交(清い)は違うのです。特に、政治家は清濁併（せいだく　あわ）せ飲み込む度量が必要です。“正論”と“生論”は違い、日本の若者も気が付くべきなのです。“正論”は「水清ければ魚住まず」の諺を思い出して欲しいと思います。バクテリアのいない清い蒸留水に魚は住めない。正論だけでは経済は成り立たないということです。俯瞰的常識の観点からすると、中国人の考える生論（生き抜き方の理論、覇道）と日本人の考える正論(正義の理論、儒教的王道)にはかなり乖離（かいり）があります。

文化大革命以降、中国共産党は基本的に世襲がないのですから、中国共産党の高層部・上層部の子供達が日本に留学したいとき、日本国政府は歓迎して日本文化と価値観を知ってもらう努力が必要です。

どこの国の諺か知らないが、“子は使者の役割をする。”という諺を本で見たことがあります。今からでも遅くないから、積極的に中国共産党の高層部・上層部の子供達を体験留学させるべきであり、日本政治家は与党であれ野党であれ“俯瞰的常識”を持つ

べきであると重ねて主張いたします。

第八段　**少しブレイク・・芸能関係に一言**

日本のメディアももっと中国ドラマの良いものを放送すべきだと思います。例えば“倚天屠龍记”。これは中国の元代末期から明代初期にかけて、倚天剣と屠龍刀の二つの女性が持つ剣（つるぎ）と男が持つ刀に秘められた武道の奥義書を、剣のみが刀を切ることが出来、奥義書を取得することが出来るという言い伝えを中国の武道家達が信じ、その為（倚天）剣と（屠龍）刀の奪い合いの闘争のドラマであり、結末は剣が刀を斬り刀に秘められた奥義書が現れ奥義書は正義の武道家にとっては邪道の奥義であったと言うストーリーである。

日本にも刀に“村正の邪剣”と“正宗の正剣”があった。“倚天屠龍记”は中国の善悪の物語です。私は、以前宝塚宙組の５年トップスターであった Y・W さんのお母さんが税務の相談で来られた時、“倚天屠龍记”のドラマを見せたことがあります。実は今でもこの中国ドラマが宝塚歌劇の新しい題材となると思っているのです。

そういえば、中国の有名スターの“R”さんが脱税事件で逮捕された時、“R”さんの中国の弁護士二人が私を訪ねてきたことも

思い出します。資本主義と社会主義の法的な制度の違いと価値観の違いの相談でありました。”R”さんは二年後保釈されました。

（堺リーガーロイヤルホテルにて）

第九段　やっと５歳、中国語では幼稚園児レベルになりました

相当苦労いたしましたが、今は通訳者なしで、一人で切符を買って電車で５時間（北京～鄭州、約 900ｋｍ）の旅をしたり、中国の田舎で自転車に乗って畑に行って中国の百姓の人と話をしたり、一人でマッサージに行ったり、一人でカラオケに行って中国の若者とカラオケ大会をしたりすることが出来るようになりました。日本でカラオケは殆ど行きませんが、稀に行った時、H 君と採点で勝負したことがあります。彼は、大学のグリークラブ出身ですが、彼が私に勝ったことがありません。いつも悔しがっている愛すべき弟分です。そんなカラオケ王子と呼ばれる私は、中国では時に一人で行くことがあります。大概私が優勝です。負ける気がしない。また一人で胡同（中国の清代の街並み）にもいきました。

私は、そして、そこに生きる他人の人生にも大変興味を持つ性

格です。私の行動の例示をすると、二年ほど前北京のある胡同で、ある家の玄関に九官鳥がおり、九官鳥が “你好，欢迎光临”（こんにちは、ようこそ）と言ったのには吃驚したことがあります。中に入ると中年の女性（45 歳くらい）が私に、「请进，清坐，你是日本人吗？　どうぞお入り下さい。お座り下さい。あなたは日本人ですか？」と聞かれた。私は「是呀　そうです」と答えると、彼女は（私の白髪と私の言い方に）吃驚して、「你会汉语马？　貴方は中国語が話せるのか？」、私は「一点点会，你会日语马？　少しは話せる、貴方は、日本が話せるのか？）」と私が聞くと、彼女は「我不会，我当然不会私は，日本語は話せん。当たり前でしょう」と言ったので、「为什么，当然不会？你说的当然不会的意思是没去过日本的意思吗？　何故、当たり前なのですか？あなたの日本語が話せないのは当たり前の意味は日本に行った事がないという意味ですか？」と聞くと彼女は「对　そうです」と答えました。

彼女にお茶を入れてもらって 30 分ほど話した後（内容は書ききれません）お礼に 100 元渡し、私が「零钱不用　おつりは要らない」。というと、彼女は土産物のお茶をくれました。玄関を出るとき九官鳥にコインの 5 元を上げると九官鳥が「谢谢，再见　ありがとう、また会いましょう」と言いました。詳しい内容は書ききれないと前述しましたが、彼女は離婚していました。お節介（他人の内情に入

ること）ながら離婚理由も聞きました。主人を子供と一緒に追い出したそうです。

カラオケで中国人に勝つ根拠は、 我的汉语的老师是月亮代表我的心的邓丽君呀。私の中国語の先生は、月亮代表我的心＝「(今は、二人は離れて住んでいるが)、月は（いつでも）私(女性)の心を表しています（それで、時々月を見てください)」の歌を歌ったテレサテンです。私は中国語の学習の一年間は、毎週夜に、私の部屋の熱帯魚の水槽の水を替えながらＤＶＤのテレサテンとデュエットしたからです。

（現在私が一番関心のある歌手は三人の女性グループの黒鴨子（hei　ya zi ヘイ　ヤー　ズ）です。彼女たちの歌声はまるで中国語でキリスト教の讃美歌を聞くような感じで私に心の安らぎを与えてくれます。

黒鴨子のおかげで私も最近日本と中国の共通のメロディー（歌詞の内容は違う）の日本・中国共通のメロディーの童謡を中国語で歌えるようになりました。日本の“旅愁”(中国語“送别”)，日本の“里の秋”(中国語“又見炊煙”)・・・がレパートリーです。黒鴨子には下記のアドレスで繋がります。
http://list.mp3.baidu.com/xiaoyuan/0/18_tsomp3.htm）

（予断ですが日本の昭和初期の軍国主義時代の“軍艦マーチ”のメロディーが幼稚園で流されているのには吃驚したし不可解でもありました。）私が仕事の為レベルの高い通訳者として依頼し日本から同行した若い母は“妈妈上班　お母さんは仕事に行くからね”と子供との別離は感動しました。

私は、人生は一旦 60 歳で死んだと思えばよいと考えるのです。人生 15 歳までは“春”、その後 30 歳までは”夏“、その後 45 歳まで”秋“、その後 60 歳まで”冬“と思えばよい。そして 60 歳で死にます。私の同級生の友人も何人かは死亡しています。私は現在 65 歳なので、65 歳―60 歳＝5 歳と思っています。（同級生も何人かは死んで寂しかったが、神が私の人生の役目が未だ終わっていないので、また本当に仕事が完成していないので生かされていると思っている。）従って、私は幼稚園の園児であります。幼稚園の砂場（純粋な思いと夢を持つ気持ち）の思い出が人生の再出発と思います。そういう気持ちになった時、私は現実的に 65 歳なので感謝の気持ちで「社会貢献」をしたいと思うのです。

第十段　政治家の皆さん！もう少しだけ中国と中国経済を勉強されたら如何でしょうか。

私はゴルフは本格的に始めたのは 48 歳からで 3 年でハンディ 10 になりましたが、中国語の学習レベルは、ハンディ 25 くらいだと思います。

还差的远那？（まだまだだな？）の心境の昨今です。

中国経済の発展には目を見張るものがあります。嘆いてばかり

ですが中国の経済発展は中国の「国策」なのであることに気が付いている政治家、経済の専門家が日本人で殆どいないのではと不安になります。中国の経済発展が「国策」であるとの意味は、需要と供給の市場原理での経済発展ではなく、極端な言い方をすれば、「全体主義的経済発展」ということです。

GDP の定義は“一定期間における、一国の国内の国民の最終生産物を市場価格で評価しその価値額を合計したもの”です。1944 年に「第二次世界大戦後の世界経済の秩序のある国家間の経済の比較指標」が決められました。その時の英国の全権大使が経済学者の J・M・Keynez です。この時こそ Keynez 理論が世界経済の各国政府が行う経済・金融・財政政策の方程式が確立された瞬間であり米国のドン・バートン・オークス市で開催されました。

GDP とは一言でいえば「一年間の国の粗利」のことでありますから例示すれば、高速道路を作った・トンネルを作った・マンションを建設した・スーパーで買い物をした・新しい車を作った・・・・であります。　中国は 2001 年 WHO に加入して初めて中央･地方政府幹部が GDP を学習いたしました。建設した後、赤字の空港でも、赤字の道路でも、赤字のダムでも、赤字のマン

ションでも、作れば経済成長になる理論を学習したのであります。中国は、日本も嘗てバブル期 1990 年までそうであったように赤字を穴埋めする為には、為替の面で政策的に元を高くしないで貿易黒字を作り、中国の希少資源の輸出価格引き上げをして、更に外貨を稼ぎ、世界のあらゆる国の資源を買い漁（あさ）ると思慮されます。

一方、アメリカは変な金融工学を駆使して金融派生商品を作りリーマンショックを惹（ひ）き起（おこ）しました。金融経済が実物経済の 2 倍（例えると月（金融経済）が地球（実物経済）の 2 倍）になったのです。1.2 倍とか 1.25 倍なら私も理解できるのです。平たく言えば、世界の金融市場が博打場（ばくちば）になったと解釈できます。博打場に成長はありません。損をするか得をするかの世界であります。言い換えれば、胴元はさて置いて、短期的に得をすることがあるかも知れないが中・長期的に必ず損をすると言うことなのです。真面目に仕事をしたり、平凡な幸せを求めている人間にとっては、甚だ（はなは）迷惑な話でありませんか。

確かに Keynez のいう経済成長の要因にその国の「人口数」が依存しているのは私も理解できます。子供が増えれば子供の服が必要であり、おもちゃ等も必要になる。成長であります。消費も

GDP に含まれます。

しかし、先日日本で著名な友人から聞いた話だが、日本の場合相続人（親が死んで、親の財産を受け取る人）の平均年齢が 67 歳になっているらしいのです。私は知らなかった。私の推定は 60 歳でありました。

日本は長寿国であるが「67 歳で親の財産を受け取っても何に使うのか」と言うことです。日本は明らかに“デフレ経済　不景気で物を買う人が少ない　物価が下がる状態”です。日本の不動産価格は安すぎて台北・北京の土地価格が東京の時価を超えました。日本の国の政策が可笑（おか）しいのか中国・台湾の政策が可笑しいのかは別として、日本の土地価格は 25%程度上がってもよいと思います。何故なら、日本は中国・台湾と比べて、インフラ設備（都市機能を維持するための、鉄道、電気、水道、ガス等の設備）が遥（はる）かに優（すぐ）れているからです。

しかし私は、中国は世界１の経済大国の米国の GDP に追いつくまで経済発展を辞（や）めないと思います。なぜなら前述したように経済発展は中国の「国策」なのであるから少なくとも 5 年から７年は経済発展すると確信します。その後は３％～４％の安定経済成長に落ち着くでしょう。また中国が欧米型(含む日本)の言

論の自由が許（ゆる）された民主主義が確立するには、まだ50年はかかると思います。

3%安定成長とは数理経済学的に言えば、新たな技術革新がない限り自然対数の底であります。自然対数の底とは数字でいえば、$e = \lim_{n\to\infty}\left(1+\frac{1}{n}\right)^n$ =2.71・・・・→3%である。

さて、尖閣諸島問題に端を発した中国の若者のデモについてですが、アメリカンドリーム（若者が真面目に努力し、チャンスに恵まれると大成功者になれる。）というようなチャイナドリームは現在の中国にはないので、若者が愛国主義的デモをしていると私は推察しているところです。

中国政府が一番困るのは、愛国主義的デモが、暴徒化することであります。（中国では暴動が大小合わせて１年間で約８万回ある）日本政府が俯瞰的常識（超法規的措置）をもった外交で速い解決を希望いたします。

簿記・会計学の貸借対照表の借方（資産の部）・貸方（負債・資本の部）の考え方で言えば、中国の漁船が日本の海上保安庁にぶつかって海上保安庁の船が傷ついたのであるから、国際法に照らせば、中国の漁船の船長日本が拘束するのは当たり前。漁船の船長が日本の刑法に無知なのも当たり前。だけれど、一回の取り調べ

で船長をすぐ中国に帰国させれば日本が中国に“政治的な貸”（中国が日本に政治的借金したという事）が作れたのにと悔やまれます。

繰り返しますが、日本の今の若い（50代以下）政治家の勘の悪さ、綾（あや、中国語では一言九鼎＝言葉を使用する人の立場能力で場面・場面で言葉の意味が違う、深い意味がある。）とタイミング（意思決定者の決断の機会）の悪さが私は残念でなりません。

日本に居る知人の中国人から聞いた話ですが、

① 今回尖閣諸島問題での中国福建省の船長は、もともと、地元で有名な酒飲で、見栄っ張りな人であると聞きました。船の飲酒運転であるとも聞きました。逮捕の事実を彼のお母さん知りがショックで事件後 2・3日後**亡くなった。**勾留延長で船長の奥さんが船長のお母さんの葬儀もできないので困って、泣いて中国・世界のマスメディアの前で言った。真相は私もしらない。

中国人船長のビデオ撮影は中国人の家族に日本を見せたい、まるで富士山の写真を撮って見せたいような行為だと私の知人は言っておりました。

② また、別の知人の中国人は、船長は元海軍中尉であると言っておりました。

③ 更に副総理格の“戴”氏が岡田前外務大臣に直接携帯電話に4回電話したが、繋がらなかったという。

本当に現在の日本政府は、中国との交渉のパイプがないのでしょうか。

私は、温家宝首相は親日派の周恩来首相のような人であると理解しています。中国超高層部での内部事情があるようです。

第十一段　日本人が知らない中国の内部事情

中国には、労働教養制度（重大な犯罪行為ではないが、深刻な違法行為、軽犯罪行為に対し、原則、勾留期間は3年以下。トイレは一日4回の制

限で、食事時間にも制限）があります。

　労働教養制度は警察に権限があり裁判所で検事と弁護士が対峙し裁判官が判断するのではなく、警察が行政判断で勾留期間を決めて、労働を通じて反省させる制度です。対象者は売春・非合法化された法輪功の信者・反政府的人物等が対象になります。警察は地方政府の行政組織に属し、武装警察は中央政府に属し、軍隊は共産党に属します。

私は日本人であります。武士道精神をもった日本人であります。しかし、日本政府に批判的になるのは、日本の尖閣諸島問題のテレビや新聞を見ていて、中国政府が反日感情のデモを取り押さえるのに中国政府が拘置所をいくら作らなければならないかを知っている日本の政府・官僚・軍事専門家がいないのも原因の一つです。中国政府とのパイプがないのはおかしすぎるといえます。中国のインターネットの人口は４億人なのであります。

やはり日本国の内情が解り、少しでも中国政府の内情を理解して解決しようとする人は、元総理の娘で外務大臣を更迭されたT.Mさんか、何かと有名な豪腕O.Iさんか、日本最強の宗教法人のI.D先生か？いないのかも知れません。何故、今の日本の政府は個人的感情問題があるにせよ、何故中国に特使を送らなかったのかと

思います。中国の日本大使は民間出身で高齢（72 歳）の丹羽さんですが私は随分気の毒であると思います。　中国では、殺人をしていないのに、経済犯罪でも死刑制度があるし、権力乱用、ひどい交通事故の加害者にも死刑制度があります。

また中国には相続制度はあるが相続税がありません。税法・経済法がある日突然変更されることもあります。日本のように法律が、議会で決まった後施行されるのではなく、中国共産党の高層部、上層部の一言で法律が変わります。中国は中央集権であるが、地方政府にもかなり権力の裁量権があります。日本では「政府と地方自治体」という言葉で表現されている部分です。中国では「中央政府と地方政府」という言葉で表現されます。地方政府は直轄４市を除く省単位（2 000 万人以上）の地方政府が 20 余有り、その下に人口 600 万人以上の一級市（日本で言えば面積的に言えば、東北地方、北陸地方の面積）がありその下に県があり、その下に郷（日本の市）と鎮（日本の町・村）があります。郷で人口 5 万から 10 万人、鎮迄行くと人口は約２、３万人になります。

市の都市人口は約 20%から 30%であり、農村人口は 70%から 80%であります。都市の戸籍謄本と田舎の戸籍謄本は違い田舎の戸籍謄本は殆ど青焼のコピーで、都市の戸籍謄本は青焼ではありません。

日本の場合、身分証明書がなくても国内旅行ができるが、中国人の場合、身分証明書がなければ、飛行機の切符も買えません。

私は、日本が中国に協力できることは、環境問題（特に水）、医療問題（病院の設備と医療技術）、自然食品と材木（中国の中原には木がない。中国は世界最大の木材輸入国である。）だと思っています。

従って、日本と中国はお互い価値観の違いの溝が少しでも小さくする努力をすれば（言い換えると人間としての信頼をゆっくりと構築できれば）、日本人と中国人の若者にビジネスチャンスがかなり高まると思うのです。またビジネスチャンスを生かして成功するには、表面の言葉ではなく、助言者の本当の真意を理解し所謂，言葉の綾（あや）（言葉の使い方に表面的な意味以外に別の意味の配慮が含まれていること）、とタイミング（決断の瞬間）が必要であるということを肝に銘じるべきです。決断には失敗もあります。失敗すれば、すぐに訂正する勇気があればよいのです。決断に有効なのは「常にゲーム感覚を磨く努力」が肝要です。

私は今でも、遠出（とおで）をする時、ノートパソコンで将棋をしています。

日本人の本当の年寄りの実力者は若い人に、わざと確かめることがあります。表面の言葉ですぐ行動する人は、軽い人間と判断し評価されない。答えの速い人間も評価されないことがあります。何故なら“快答”、“回答”と“解答”は違うからです。中国語の

「教一下你的意思？　貴方の発言の意図がわからないので教えてください」とか、「你的意思是这样吗　あなたの意図は・・・ですか？」と確かめる人間はなかなか、優秀な人物と評価されます。それを習得するには、自らの熱心さと不断の努力をしなければなりません。また、中国語の天意（巡り合い）も大切です。

第十二段　（終段）

先日たまたま、大阪の日本橋にある上海新天地（中国人向け百貨店）に 9/18(土曜日)行ったところ、中国語の DVD の販売枚数と私の書斎の DVD の数は“差不多　変わらない”ことを発見しました。

今月見た DVD は“三国（95 集）” と“女人不哭（35 集）　女は泣かない”、約 130 時間。自己の体力との戦い（土日休日は 20 時間連続で 3 回みた）でありました。“三国（95 集）”はごく最近中国国内で放映されたもので、疲れるが見ごたえがある内容です。各英雄の戦略・戦術も面白いが、赤壁の戦いで敗れ、まるで“一将功なり万骨枯れる。自己の目的達成の為に幾多の人間を殺戮・部下をも犠牲にした”覇権王曹操を見逃す関羽の「忠義仁勇」の場面には改めて感服した次第であります。

“女人不哭（35 集）”の女主人公の子供の頃を演じる子役は、福原愛ちゃんそっくりの子役で、その名演技には感動しました。

ここで改めて古代から現在にいたる迄中国人の 歴史的価値観の不変性がよく解かりました。以下、私の約 10 年間の中国体験と私が所有し見た中国語の DVD 約 80 本・中国語の書籍約 150 冊で私が気づいた日本人と中国人の価値観の違いを整理してみました。

庭の軒下書斎

「新日中友好 36 計」の内容は老人の（仮称）「中国大学」卒業論文と思って読んで下さい。

歳をとると、ついつい自制心がなくなり、過激に書いた箇所もあります。こういう武士道精神は有名なラマンチャの男 “ドンキホーテ”の騎士道で“白馬の騎士”ではなく、“白髪の騎士”と言います。“章別”は独立章として“温故知新　旧きを訪ね新しきを知る、という未来志向も入れて整理しました。”

何故なら過去整理なくして未来はありません“から。

余りにもたくさんの中国ドラマを見ましたので 2000 年前がまるで 200 年前の出来事かと錯覚しそうな今日この頃です。あと何年元気で生きていられるかな？　謝乱筆。

2010/9/30　2010/11/20